

**製品名: AIF マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81018**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	67kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AIF
別名	AIFM1; AIF; PDCD8; COXPD6; MGC111425
遺伝子 ID	9131.0
SwissProt ID	O95831
免疫原	大腸菌で発現したヒト AIF の精製された組み換え断片。

**背景**

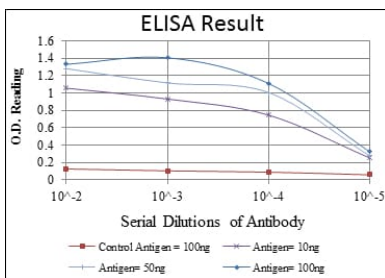
この遺伝子は、アポトーシス細胞の核分解に必須のフラビンタンパク質をコードしており、健常細胞ではミトコンドリア膜間腔に存在します。アポトーシス誘導により、このタンパク質は核に移行し、染色体の凝縮と断片化に影響を与えます。さらに、この遺伝子

産物はミトコンドリアからアポトーシス誘導タンパク質であるシトクロムcとカスパーゼ9の放出を誘導します。この遺伝子の変異は複合型酸化リン酸化欠損症6を引き起こし、重篤なミトコンドリア脳筋症を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する偽遺伝子が10番染色体上に同定されています。

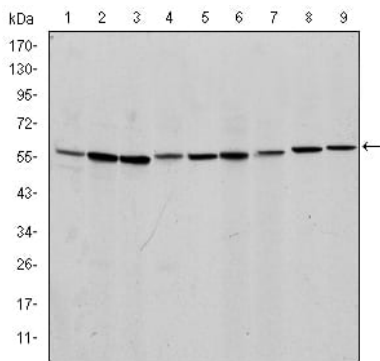
## 研究分野

アポトーシス

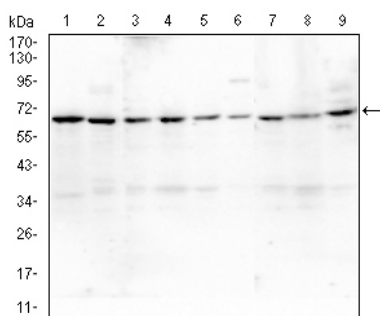
## 画像データ



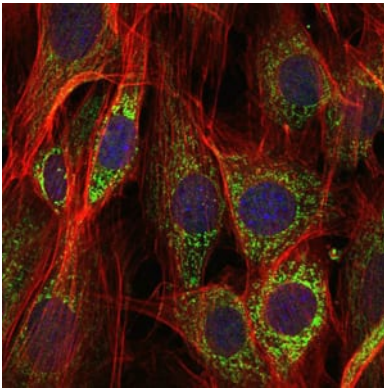
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



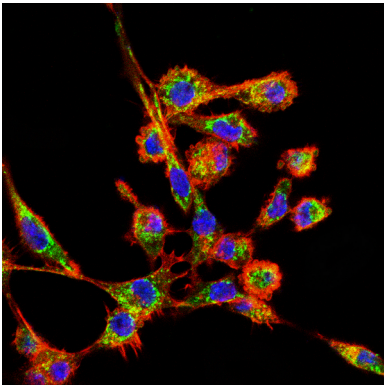
NIH/3T3 (1)、Jurkat (2)、Hela (3)、HepG2 (4)、MOLT4 (5)、C6 (6)、RAJI (7)、Cos7 (8)、PC-12 (9)細胞溶解物に対するAIF マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



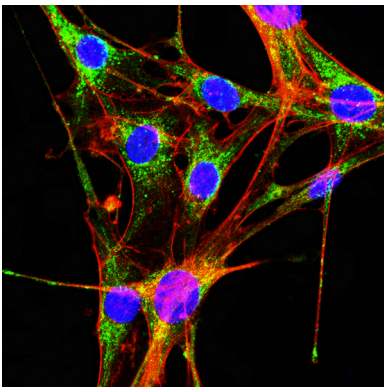
CHO3D10(1),COS7(2),F9(3),L1210(4),C6(5),C2C12(6),NIH/3T3(7),Raw264.7(8),PC-12(9)細胞溶解物に対するAIF マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



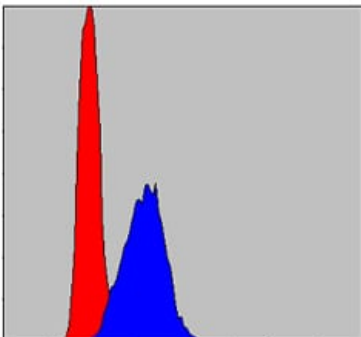
AIF マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



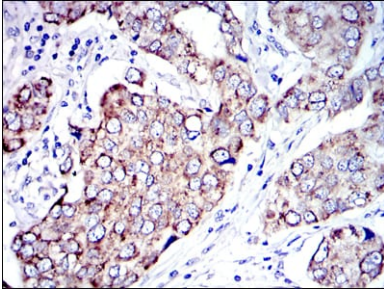
AIF マウス mAb (緑) を用いた RSC-96 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



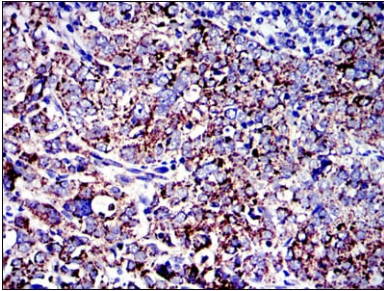
AIF マウス mAb (緑) を用いた NIH3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



AIF マウス mAb (青) とネガティブコントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



AIF マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



AIF マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。